令和7年度　厚木市市民協働提案事業

NPO法人多言語広場CELULAS

活動報告書

NPO法人 多言語広場 CELULAS（セルラス）

事業目的

厚木市の子どもたちが留学生在住外国人との交流を通して、多言語多文化を楽しみ、言語や文化の違いを超えてコミュニケーションする機会を設けることで、多様性を認めあい国際社会を豊かに生きていく力を養う。

市民の中にも多様な背景を持つ人たちがいることを知り、外国に繋がりのある親子との交流を通して多様であることの豊かさを体験する。 その体験を通して、他者への信頼と違いを受入れ心を開いて社会で生き抜く力を養い豊かでどんな人にも優しい地域を作る。

1



２０２５/9/２６
厚木市立小鮎小学校
6年生1組、2組



---プログラム---

・3時間目：モンゴルの国紹介
たくさんの写真で人々の暮らしや文化、
国の概要などを話します。
クイズもあります。

・4時間目：国民的祝祭ナーダムについて
ビデオを見てナーダムを体験。
モンゴルのおはじき、シャガイを使った競馬ゲーム
4人一組のグループになってやってみましょう。

講師：ツェンベルドラムさん
（愛称ツェギー）
日本大学大学院 商学研究科 経営学専攻 博士後期課程3年生
2018年に来日　事業創造大学大学院 修士課程に留学

モンゴルの文化紹介

モンゴル語のあいさつ
住居や生活習慣、料理やお祭りなど





シャガイを使って競馬すごろく





シャガイとはモンゴル語で家畜(羊やヤギなど)のくるぶしの骨のこと。
4面それぞれの面ごとに、馬・ラクダ・羊・ヤギの意味を持つ。
馬が出たら馬の数だけコマを進めることができる。

参加児童の感想

・モンゴルに行ってみたくなった。
・シャガイの競馬ゲームが面白かった。
・紹介されたモンゴルの料理を食べたい。
・ナーダムのお祭りで小さな子が馬に乗って競うことに驚いた。
・ツェギーさんにまた来てほしい。
・ゲルの中に冷蔵庫やテレビがあってびっくりした。

担任先生の感想

大変楽しかったです。来年も是非またやってほしいです。

厚木市立小鮎小学校での２年目の授業実施。

昨年は１年生２組。今年は６年生２組。
事前に担任の先生との話し合いを３回持つことができ、学校側の要望を生かした授業ができた。事前のグループ分け、号令、挨拶など授業の一環として取り組んでくださった。

モンゴル紹介のプレゼンテーションにはたくさんの質問が出て、講師のツェギーさんは、一生懸命回答してくれた。グループでの競馬ゲームも大変盛り上がった。

最後に代表の児童が講師への感謝と感想を発表した。
来年も授業を実施してほしいとの要望をいただいた。

2



《参加者数》

市内在住親子 ５組１５名



《プログラム》

- 開会式
- 講師紹介
- ブラジルのおやつ作り（ポンデケージョ・アサイー）
- ブラジル紹介
- ブラジルの遊びを体験（エラスチック）
- 閉会式



講師
ブラジル出身の
貝原ナナさん



ポンデケージョ



アサイースムージー

おやつ作り　ポンデケージョとアサイースムージー









ポンデケージョ



アサイースムージー

ブラジルとポルトガル語の紹介





子どもの遊び
「エラスチック」
ゴム跳び

参加者の感想

・ブラジルの文化や生活など初めて知ることばかりだった。
・ブラジルの文化に触れることができて普段は体験できないことばかりで楽しかった。
・このイベントを通してブラジルに関心が強くなった。
・ポンデケージョとアサイースムージーがとても美味しかった。
・子供たちの司会が可愛かった。スタッフの方々も優しかった。
・ナナさんのお人柄が素敵だった。

参加者のペルー人のご家族が、自国にも同じ遊びがあると喜んでくれた。
おやつ作りはとても簡単で楽しく、小さな子たちも一緒に参加できた。
ポンデケージョもアサイースムージーも美味しい！と好評だった。

講師の貝原ナナさんは日系ブラジル人で日本在住３３年。
日本が大好きだと何度も話していた。
２０年ぶりにブラジルに里帰りし、アサイーの収穫体験の写真や実物も持ってきて見せてくれた。「シュラスコ」と呼ばれるバーベキューの写真やアサイーの写真には参加者が釘付けになっていた。
ブラジルの遊びのエラスティック、「頭、肩、膝ポン」ではポルトガル語もたくさん使って遊んだ。

講師と参加者がとても親しくなり、ブラジルに興味を持ってくれた。
ナナさんが大好きだと言う日本やこの厚木地域を改めて良いところだと見直すことができた。

成果

１.出前国際理解授業

あまり知られていないモンゴルという国の暮らしや文化、伝統行事などをモンゴル人の講師から話してもらい、子どもたちの世界が広がった。
講師の話を聞くだけでなく、シャガイを使ったゲームで遊び、文化を実際に楽しむ事もできた。小学校の国際理解週間に授業をすることができたことも大変良かった。

２.親子で楽しむブラジルのおやつと遊び

厚木市民親子と在住外国人講師との交流に加えて、今年はペルー人の家族が参加してくれたことで、厚木市内の多様な背景を持つ市民同士の交流ができた。
おやつ作りや遊びを通して、食文化や遊びの文化など、多様な文化を親子で楽しむ機会となった。在住外国人の多い地域の公民館で開催できたことも良かった。

収支決算

厚木市親子多言語多文化交流事業

自　令和7年4月　1日
至　令和8年3月31日

1. 収入の部

（単位:円）

	項目	予算	決算	増減
A	市負担金	110,000	110,000	0
B	参加費	9,000	6,600	△ 2,400
B	協賛金	32,000	0	△ 32,000
C	団体負担金	9,000	33,160	24,160
				0
	収入合計	160,000	149,760	△ 10,240

2. 支出の部

（単位:円）

費目番号	項目	摘要	予算	決算	増減
A	印刷製本費	チラシ・ポスター印刷	90,000	78,298	△ 11,702
B	消耗品費	消耗品等	39,000	53,462	14,462
C	通信費	通信料・郵送料	1,000	0	△ 1,000
D	人件費	スタッフ謝金	15,000	8,000	△ 7,000
E	報償費	在住外国人講師謝金	15,000	10,000	△ 5,000
	支出合計		160,000	149,760	△ 10,240

3. 差引残高

収入合計	149,760　円
決算合計	149,760　円
差引残額	0　円

令和　8年　3月　31日

団体名:NPO法人多言語広場セルラス

代表:理事長鈴木隆志

厚木市担当　石川茂子